# 第 89 回理事会議事録

１．日　時：2023 年 8 月 25 日（金）18 時 30 分～19 時 50 分
２．議決方法：オンライン会議システム Zoom を使用した
３．議事参加者：【理事 11 名】 鳩山勝郎、浅越琴美、伊藤直彦、久保公人、齋藤陽子、寺本直志、橋本公二、森村俊介、柳澤彰子、山田和彦、吉田正
【監事 2 名】 関口修、正村祐一
【事務局 2 名】 高野英樹事務局長、仲村篤志競技会事業部長
（理事現在数：13 名、定足数 7 名、本人出席 11 名）

４．議事の経過及び結果
WEB 会議システムを用いて理事会を開催した。WEB 会議システムにより出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり適時的確な意見交換ができることを確認した。
鳩山会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案　第 88 回理事会議事録の承認について
議事録案を承認した。

第 2 号議案　会員の逝去について
以下の会員の逝去が報告された。
野崎武（会員番号 1744）緒方世喜子（200493）中尾雅躬（82172）

第 3 号議案　競技会主催・公認規則改正の件
山田競技会事業担当理事より競技会主催・公認規則の改正について以下の説明があった。
みなしブリッジセンターのセクショナルの年間の開催回数は 12 日までと同規則で定めているが、上限に達しているみなしブリッジセンターが 1 つ 2 つあり、上限の緩和の要望が出されたことから検討を行った。ブリッジセンターとクラブの住み分けについては問題がないこと、およびクラブの安定的な継続につながることから、年間 16 回への緩和を行うこととしたい。
検討の結果、これを承認した。なお、みなしブリッジセンターの対象範囲をより明確にしたいとの意見が出され、関連規則の確認を行うこととした。

第 4 号議案　役員候補者選考委員会について
鳩山会長代行より役員候補選考委員会の設置および役員候補選考委員会規則が提案され以下の説明があった。

役員候補選考委員会はスポーツ団体中央競技団体ガバナンスコードに記載されており、同委員会を新たに設置することで適切に対応し役員候補の選考を行っていきたいと考えている。
検討の結果、これを承認した。委員会のメンバーは以下に決定した。
役員候補選考委員会
委員長　宮内宏
委員　齋藤陽子、柳澤彰子、正村祐一

第 5 号議案　各委員会および事業部報告

1.　企画委員会

吉田企画委員長より 7 月 12 日および 8 月 12 日に行われた企画委員会について以下の報告があった。
感染防止対策については、連盟主催試合においてはマスク着用を継続している。8 月 9 月も引き続き様子を見つつ緩和のタイミングをはかることとする。
オランダで 7 月に開催された世界ユース選手権において、ビッドはタブレット、プレイはカードが使用された。ACBL のトライアルではビッド時に使用されたタブレットにより各ペアの使用時間の測定がなされた旨報告があった。

2.　競技委員会

寺本競技委員長より 7 月 5 日に開催された第 283 回競技委員会について以下の報告があった。
地域対抗選手権関東予選のフライト B でボードの組込に関するミスがあった。
地域対抗選手権フライト B の MP 制限を上げてほしいという要望に対しては検討の結果現状維持とした。
高松宮記念杯フライト A 準決勝・決勝において、BBO 中継に加えてプレイ映像を Youtube 中継する方向で準備を行っている。
日本リーグ・クラブリーグのクオリファイ条件についてはクラブリーグの日程は 4 日間から 3 日間に変更されたことを考慮し 40%から 33%に緩和することとした。
予選・決勝があるペア戦について、決勝のテーブル数が総当たりできるテーブル数となるよう、決勝のテーブル数が少ない場合には予選通過者が 70%を超える範囲まで柔軟に調整できるようにした。
全日本地域対抗選手権関東予選において、フライトの参加チームが 2 または 3 の場合には 1 日で終了することとした。その場合ディスコリファイしたチームメンバーも代表の権利を持つこととした。

3.　普及事業部

齋藤普及事業担当理事より初心者特別大会の後援を行う旨報告があった。
齋藤普及事情担当理事よりオランダで 7 月に開催された世界ユース選手権に

ついて以下の報告があった。
日本から U21、U26 の 2 チームが参加し、U21 は 20 チーム中の 12 位、U26 は 24 チーム中の 16 位となった。歴代の日本チームと比較してもかなりの健闘であった。
4.　競技会事業部
山田競技会事業担当理事より競技会事業部活動状況および資格取得者の報告があった。
5. 国際交流事業部
吉田国際交流事業担当理事より第 53 回 APBF 選手権のキャプテン報告について説明があった。本大会では残念ながら 4 カテゴリーの全てにおいて日本チームは世界選手権の出場権獲得を逃す結果となった。
6. 広報事業
柳澤広報事業担当理事より広報活動について以下の報告があった。
アジア競技大会関連で取材があった。プレスリリースの発信を予定している。SNS を活用し競技会情報、ブリッジ関連イベント、および海外のブリッジ普及の情報を発信している。札幌およびつくばのブリッジクラブと広報活動で連携を行っている。
7. 法人・管理部
寺本法人・管理担当理事より 7 月末時点の比較財務諸表、月次収支実績、クラブ勘定残高について以下の報告があった。
2023 年の収支状況については、APBF 選手権、APBF ユース選手権、世界ユース選手権への日本代表の派遣を行ったことが主に影響し、昨年同時期と比較して約 2 千 5 百万円の収支の悪化となっている。クラブ勘定の残高については問題がない。

第 6 号議案　その他の議案
1.　次回理事会開催について
次回理事会は 2023 年 10 月 27 日（金）18 時 30 分よりオンラインにより開催する

2023 年 8 月 25 日
公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟
第 89 回理事会
代表理事　　鳩山 勝郎

監　　事　　関口 修

正村 祐一

議事録作成者　寺本直志